

事業実績報告書

(※市ホームページに掲載予定ですので、できる限りわかりやすく記載してください。)

団体名 関西学院大学 HoL+ (ホルプラ)

1 事業名	宝塚市制 70 周年記念「世代をつなぐスマホ講座」
2 事業の内容（実施日、場所、回数、内容、参加者数などを含めて具体的に記入してください。）	実施日時：2024 年 10 月 26 日、11 月 9 日 （午前の部：10:00～12:00 午後の部：13:30～16:00） 場所：宝塚市立未成小学校 南館一階多目的ホール 参加人数：10/26（1 日目）午前の部：12 名 午後の部：20 名 スタッフ 21 名 11/9（2 日目）午前の部：11 名 午後の部：23 名 スタッフ 22 名 内容：未成小学校区、そしてその周辺にお住いの高齢者を対象としたスマホ講座です。 HoL+（ホルプラ）に所属する関西学院大学の学生が、受講生にマンツーマンでスマートフォンの操作の指導をします。 【午前の部】 教室の前で学生が LINE に関するスマホの操作を説明し、その都度受講生が実践していくという講義形式で行いました。その実践の中で、隣の学生が受講生のスマホ操作をサポートしました。 【午後の部】 午後の時間は「なんでも相談会」としており、受講生の方がスマホの悩みをなんでも気軽に聞くことができる時間としています。午後の時間も午前と同様、原則マンツーマンで相談に乗ることができるようにしていました。 午後の部の最初の時間では、「インターネット詐欺」についての講義ブースも設置し、近年問題となっているインターネット上の詐欺についても理解を深めていただく時間を作りました。 【テーマ】 今回のスマホ講座の全体を通してのテーマは、「世代をつなぐ」です。私たち HoL+ が宝塚市で活動させていただく中で、若者・子育て世代と高齢者の間で壁があると感じました。 今、地域活動の主体となっているのは高齢者であることが多く、若者や子育て世代は生活や仕事で忙しく、地域活動に対する考え方が世代ごとにギャップがあると感じています。それは宝塚市のコミュニティすなわりの部分でも同様だと思います。 今後の地域を考えた時に、若者・子育て世代の存在は非常に大きいです。今回の企画は、まずは地域の高齢者の方々が、世代を超えてコミュニケーションを取る事に対してハードルを感じないように出来ればと思い、実施しました。 講座内では、受講生（高齢者）と学生（若者）がスマホの操作の話だけでなく、雑談を通してお互いを知る時間を設けたことにより、若者、高齢者だからという区分を取り払って個人として、コミュニケーションが取れるようにしました。

3 市制 70 周年をお祝いした内容

チラシや、スマホ講座会場前の立て看板にロゴマークを使うだけでなく、講座の中でも市制 70 周年記念に触れてお祝いしました。

4 事業の効果・成果

午前中の講義形式での講座では、雑談の時間を多く設け、受講生と学生スタッフがお互いを知れるようにしたところ、講座開始前には緊張していた受講生と学生スタッフも、講座終了後には互い打ち解け、笑顔で帰ることが出来ました。

午後のなんでも相談会の時間では、初級者から上級者まで幅広いレベルの方に来て頂き、学生スタッフがマンツーマンで対応しました。当時話題となっていた闇バイトに関連した「高齢者詐欺」の講義をブースを盛り込んだことにより、スマホの操作だけでなく詐欺についても触れることが出来、数々のご好評をいただきました。

5 実施した安全対策

予約してくださった受講生の方に個別で事前にご連絡して、配慮してほしいことに関して確認しました。

そして、講座中にも受講生の方とコミュニケーションを密に取り、耳が聞こえにくい方は別室にご案内して、一人一人の受講生の方によりよい講座になるように尽力しました。